

ひな形

〔施設名〕

## 洪水時の避難確保計画

策定した日付、もしくは改定  
した日付を記載する

令和3年5月 日 修正

長野県池田町施設用

# 目次

1. 計画の目的	1
2. 計画の適用範囲	1
3. 防災体制	1
4. 警戒レベルを用いた避難指示等の発令基準	2
5. 避難指示等の判断基準	3
6. 判断基準となる水位観測所と避難対象区域	4
7. 情報収集及び伝達	5
8. 避難誘導	8
9. 避難の確保を図るための施設の整備	9
10. 防災教育及び訓練の実施	9
11. 自衛水防組織の業務に関する事項（自衛水防組織を設置する場合に限る。）	9
別表1	10
別表2	10
別紙 「避難経路図」	11
別紙 「体制ごとの施設内緊急連絡網（平日用・休日用）」	
別紙 「保護者(利用家族)緊急連絡網」	

## 1. 計画の目的

この計画は、水防法第15条の3第1項に基づくものであり、「 (施設名)」の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

## 2. 計画の適用範囲

この計画は、「 (施設名)」に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

## 3. 防災体制

避難確保体制とする対応順位及び行動

(日帰り施設または24時間利用しない施設は(1)(2)(3)を追加)

- (1) 台風情報、大雨の予報(長雨、前線)により災害が予想される場合(注意体制)には、施設の開所、開設をしないこととする。
- (2) 施設開所中に天候の悪化、大雨注意報等の情報を入手した場合(警戒体制)には、利用者を帰宅させる又は家族等に連絡すると共に確実な引き渡しを行うこととする。
- (3) 施設開所中に高年齢者避難等避難確保が必要となった場合には、非常体制のとおりとする。

	体制確立の判断時期	活動内容	対応要員
注意体制	洪水注意報発表	洪水予報等の情報収集	情報収集伝達要員
警戒体制	洪水警報発表	洪水予報等の情報収集	情報収集伝達要員
		使用する資器材の準備	避難誘導要員
		保護者への事前連絡	情報収集伝達要員
		周辺住民への事前協力依頼	情報収集伝達要員
非常体制	高年齢者等避難又は避難指示の発令 高瀬川氾濫注意情報又は高瀬川氾濫警戒情報又は高瀬川氾濫危険情報の発表	避難誘導	避難誘導要員

自衛水防組織を設置した場合には、それぞれ対応する自衛水防組織の班編成及び要員の配置を記述する。

上記のほか、施設の管理権限者(又は自衛水防組織の統括管理者)の指揮命令に従うものとする。

## 4. 警戒レベルを用いた避難指示等の発令基準

	洪水予報河川の設定例
<b>警戒レベル5</b> 緊急安全確保	1 決壊や越水・溢水が発生した場合 <b>災害発生または切迫</b>
<b>警戒レベル4</b> 避難指示	<p><b>【避難指示】(基本的にはこの段階で全員避難)</b></p> 1 指定河川洪水予報により、高瀬川の十日市場水位観測所の水位が氾濫危険水位である。2.3mに到達したと発表された場合 2 指定河川洪水予報の水位予測により、高瀬川の水位観測所の水位が堤防天端高を超えることが予想される場合(急激な水位上昇による氾濫のおそれのある場合) 3 異常な漏水・浸食等が発見された場合 4 避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合 4については、対象となる地域状況を勘案し、基準とするか判断すること <p><b>【避難指示】緊急的に又は重ねて避難を促す場合等に再度発令</b></p> 1 高瀬川の十日市場水位観測所の水位が、氾濫危険水位である2.3mを超えた状態で、指定河川洪水予報の水位予測により堤防天端高に到達するおそれが高い場合(越水・溢水のおそれのある場合) 2 異常な漏水・浸食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 3 樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合(発令対象区域を限定する)
<b>警戒レベル3</b> 高齢者等避難	1 指定河川洪水予報により、高瀬川の十日市場水位観測所の水位が避難判断水位である2.0mに到達したと発表され、かつ、水位予測において引き続きの水位上昇が見込まれている場合 2 指定河川洪水予報の水位予測により、高瀬川の十日市場水位観測所の水位が氾濫危険水位に到達することが予想される場合(急激な水位上昇による氾濫のおそれのある場合) 3 軽微な漏水・浸食等が発見された場合 4 避難準備・高齢者等避難の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合
<b>警戒レベル2</b> 避難行動の確認	洪水注意報・大雨注意報等(気象庁が発表)
<b>警戒レベル1</b> 心構えを高める	早期注意報情報(気象庁が発表)

## 5. 避難勧告等の判断基準

レベル	水位	国または都道府県が気象庁と共同で発表する情報(洪水予報等)	町に求められる行動	住民に求められる行動
5	<b>はん濫の発生</b>	警戒レベル4相当情報 はん濫発生情報 大雨特別警報等	逃げ遅れた住民の救助等 新たなはん濫が及ぶ区域住民	既に災害が発生している状況です。命を守るため最善の行動をとりましょう。
4 危険	<b>はん濫危険水位</b> 堤防の決壊など重大な災害発生 の恐れがある水位	警戒レベル4相当情報 はん濫危険情報 洪水情報等	避難指示の発令	速やかに避難を完了。移動が危険と思われる場合は、安全な場所へ避難しましょう。
3 警戒	<b>避難判断水位</b> 避難行動を行う 目安となる水位	はん濫警戒情報 洪水警報等	高齢者等避難の発令 (発令時期・避難所の開設等)	避難に時間を要する人、災害時避難行動要支援者の方は、避難を開始しましょう。
2 注意	<b>はん濫注意水位</b> 避難行動の準備を行う 目安となる水位	はん濫注意情報 (洪水注意報・大雨注意報)等	高齢者等避難の発令を判断 水防団出動	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1		早期注意情報		平常時 出水時の情報入手方法の把握 避難の仕方をイメージ 防災学習

<b>はん濫の発生</b>	決壊や越水・溢水が発生した場合
<b>はん濫危険水位</b>	洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の恐れがある水位
<b>避難判断水位</b>	避難指示の発令判断の目安、住民の避難判断の参考となる水位
<b>はん濫注意水位</b>	高齢者等避難の判断の目安、水防団の出動の目安となる水位
<b>水防団待機水位</b>	水防団の待機の判断目安、水位が1メートルとなったとき

## 6. 判断基準となる水位観測所と避難対象区域

水位設定のある高瀬川の池田町十日市場観測所の水位による浸水想定での避難対象区域

高瀬川避難発令基準

発令の区分	条 件	対象地区 (世帯数)	水位観測所水位 (池田町十日市場)	警戒 レベル
避難の準備 (はん濫注意水位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨量の予測が過去の災害雨量に到達すると予測されるとき。</li> <li>避難判断水位に到達し120分後にはん濫危険水位に到達すると予測されるとき。</li> <li>近隣河川でのはん濫被害等の情報を入手したとき。</li> </ul>	豊町、一丁目 吾妻町、東町 二丁目、三丁目、 四丁目、 五丁目、花見、 滝沢、林中 内鎌、和合、 渋田見、 十日市場、 高瀬橋南、 鶴山、中之郷	1.50m	警戒レベル2
高齢者等避難 (避難判断水位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川管理施設の異常(堤防等の漏水や変状等破堤につながるおそれのある被災等)を確認したとき。</li> <li>避難判断水位に到達し70分後にはん濫危険水位に到達と予測されるとき。</li> <li>高瀬川はん濫警戒情報を受信したとき。</li> </ul>	同上	2.0m	警戒レベル3
避難指示 (はん濫危険水位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防の決壊、堤防から水があふれる状況を確認したとき。</li> <li>河川管理施設の異常が増大(堤防の亀裂拡大、漏水が増大等)するのを確認したとき。</li> <li>避難判断水位に到達し55分後にはん濫危険水位に到達と予測、もしくは既に到達しているとき。</li> <li>高瀬川はん濫危険情報を受信したとき。</li> </ul>	同上	2.3m	警戒レベル4
緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に災害を把握した場合</li> </ul>			警戒レベル5

## 7. 情報収集及び伝達 《記載例》

### (1) 情報収集

- 収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報	テレビ、ラジオ、情報提供機関のウェブサイト等
洪水予報、水位到達情報	池田町からの広報、情報提供機関のウェブサイト等
避難情報(避難指示等)	池田町からの広報、町民登録制メール、yahoo 防災情報、町公式ツイッター、テレビ、ラジオ、緊急速報メール(エリアメール)等

- 停電時は、ラジオ、タブレット、携帯電話を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、乾電池、バッテリー等を備蓄する。
- 提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況、斜面に危険な前兆が無いか等、施設内から確認を行う。

### (2) 雨に関する情報

#### 気象情報の種類

大雨注意報（長野地方気象台が発表）

大雨注意報は、大雨により災害の起こるおそれがある旨を警告して発表される。

大雨警報（長野地方気象台が発表）

大雨警報は、大雨により重大な災害の起こるおそれがある旨を警告して発表される。

記録的短時間雨量情報（長野地方気象台が発表）

記録的短時間雨量情報は、大雨警報発表時に、降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるために発表される。

長野地方気象台では、1時間雨量が100mmを超えた際に発表

#### 気象情報の確認

情報名	入手先	備考
大雨注意報	長野地方気象台 HP <a href="http://www.jma-net.go.jp/nagano/">http://www.jma-net.go.jp/nagano/</a>	全施設職員は、携帯電話の砂防モバイルサービスへ登録する。 <a href="http://www.mobile.sabo-nagano.jp/m/">http://www.mobile.sabo-nagano.jp/m/</a>
大雨警報	長野県 河川砂防情報ステーション	
記録的短時間雨量情報	<a href="http://www.sabo-nagano.jp/">http://www.sabo-nagano.jp/</a>	

#### 雨量・水位情報の確認

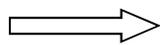
情報名	入手先	備考
雨量・水位情報	長野県 河川砂防情報ステーション <a href="http://www.sabo-nagano.jp/">http://www.sabo-nagano.jp/</a>	雨量局のデータに注視する。 水位局のデータに注視する。  POTEKA 雨量計池田町4か所に設置 (中島、町役場、滝沢、陸郷)  危機管理型水位計
	poteka <a href="http://www.potekanet.com/">http://www.potekanet.com/</a>	
	川の水位情報 <a href="https://k.river.go.jp">https://k.river.go.jp</a>	

## 参考 水位・気象情報

水位・気象情報は、下記のURLにアクセスして情報を取得して下さい。

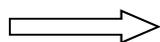
長野地方気象台 HP

<http://www.jma-net.go.jp/nagano/>



長野県 河川砂防情報ステーション

<http://www.sabo-nagano.jp/>



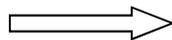
気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

poteka

<http://www.potekanet.com/>

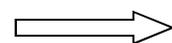
池田町 4 箇所の雨量計



川の水位情報

<https://k.river.go.jp>

(危機管理型水位計)



### (3)情報伝達

- 別紙 「体制ごとの施設内緊急連絡網(平日用・休日用)」に基づき、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。
- 警戒体制下で非常体制に移行するおそれがある場合には、別紙 「保護者(利用家族)緊急連絡網」に基づき、保護者(利用家族)に対し、「非常体制に移行した場合には (避難場所)へ避難する」旨を連絡する。
- 非常体制に移行した場合には、別紙 「保護者(利用家族)緊急連絡網」に基づき、保護者(利用家族)に対し、「非常体制に移行したので、 (避難場所)へ避難する。利用者(又は児童)引き渡しは (避難場所)において行う。利用者(又は児童)引き渡し開始については、追って別途連絡する。」旨を連絡する。
- 避難の完了後、別紙 「保護者(利用家族)緊急連絡網」に基づき、保護者(利用家族)に対し、「避難が完了。これより (避難場所)において利用者(又は児童)引き渡しを行う」旨を連絡する。

## 8 . 避難誘導

### (1)避難場所

- 洪水時における避難場所は、 丁目「 小学校」とする。
- 周辺の浸水の状況や利用者の健康状態等により上記避難場所への避難が困難な場合には、一時避難場所として本施設 棟の2階へ避難するものとする。

### (2)避難経路

- 洪水時における避難場所までの避難経路については、別紙 「避難経路図」のとおりである。

### (3)避難誘導方法

- 施設外の避難場所に誘導するときは、避難場所( 丁目「 小学校」)までの順路、道路状況について説明する。
- 避難する際は、車両等を使用せず徒歩を原則とする。
- 避難誘導にあたっては拡声器、メガホン等を活用し、先頭と最後尾に誘導員を配置する。
- 避難誘導員は、避難者が誘導員と識別しやすく、また安全確保のための誘導用ライフジャケットを着用し、必要に応じて蛍光塗料を現地に塗布するなどして、避難ルートや側溝等の危険箇所を指示する。
- 避難する際には、ブレーカーの遮断、ガスの元栓の閉鎖等を行う。
- 浸水するおそれのある階または施設からの退出が概ね完了した時点において、未避難者の有無について確認する。

## 9. 避難の確保を図るための施設の整備

- 情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する施設及び資器材については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。
- これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材等一覧

活動の区分	使用する設備又は資器材
情報収集・伝達	テレビ、ラジオ、タブレット、ファックス、携帯電話、懐中電灯、電池、携帯電話用バッテリー
避難誘導	名簿（従業員、利用者等）、案内旗、タブレット、携帯電話、懐中電灯、携帯用拡声器、電池式照明器具、電池、携帯電話バッテリー、ライフジャケット、蛍光塗料 施設内の一時避難のための水・食料・寝具・防寒具

自衛水防組織を設置する場合には、自衛水防組織の装備品リストを記載する。

## 10. 防災教育及び訓練の実施

- 毎年4月に新規採用の従業員を対象に研修を実施する。
- 毎年5月に全従業員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

以下は、自衛水防組織を設置する場合に限る

## 11. 自衛水防組織の業務に関する事項

《記載例》

- 別添「自衛水防組織活動要領」に基づき自衛水防組織を設置する。
- 自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。  
毎年4月に新たに自衛水防組織の構成員となった従業員を対象として研修を実施する。  
毎年5月に行う全従業員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

## 別添 1 自衛水防組織活動要領(案)

## (自衛水防組織の編成)

第1条 管理権原者(防火・防災管理者が設置されている場合にあつては、当該防火・防災管理者を管理権原者とする。以下同じ。)は、洪水時において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

2 自衛水防組織には、統括管理者を置く。

(1) 統括管理者は、管理権原者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

(2) 統括管理者は、洪水時における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

3 管理権原者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

4 自衛水防組織に、班を置く。

(1) 班は、総括・情報班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

(2) 各班の任務は、別表1に掲げる任務とする。

(3) 防災センター(最低限、通信設備を有するものとする)を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター勤務員及び各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する。

## (自衛水防組織の運用)

第4条 管理権原者は、従業員の勤務体制(シフト)も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

2 特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあつて、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権原者は、近隣在住の従業員等の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

3 管理権原者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員等の非常参集計画を定めるものとする。

## (自衛水防組織の装備)

第5条 管理権原者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

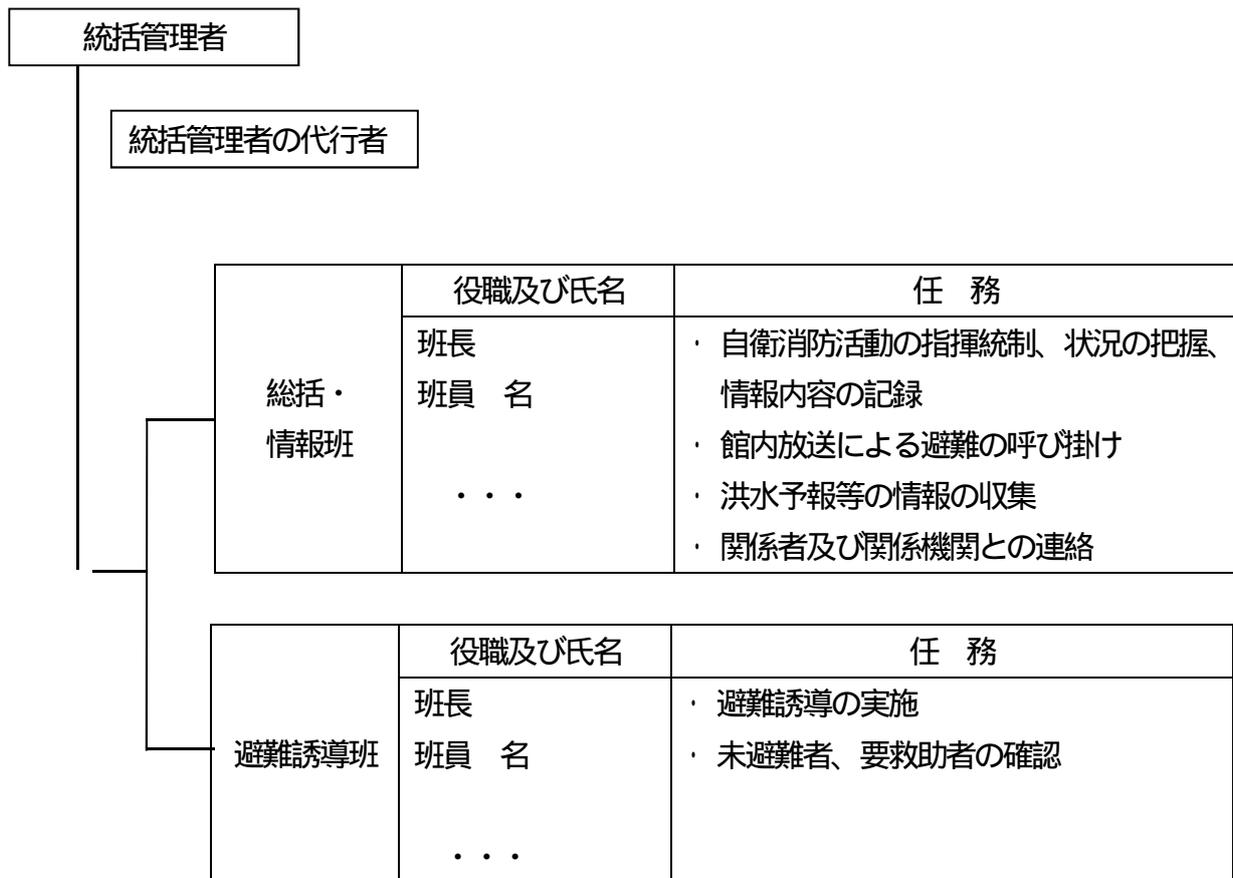
(1) 自衛水防組織の装備品は、別表2「自衛水防組織装備品リスト」のとおりとする。

(2) 自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

## (自衛水防組織の活動)

第6条 自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。

別表1 「自衛水防組織の編成と任務」

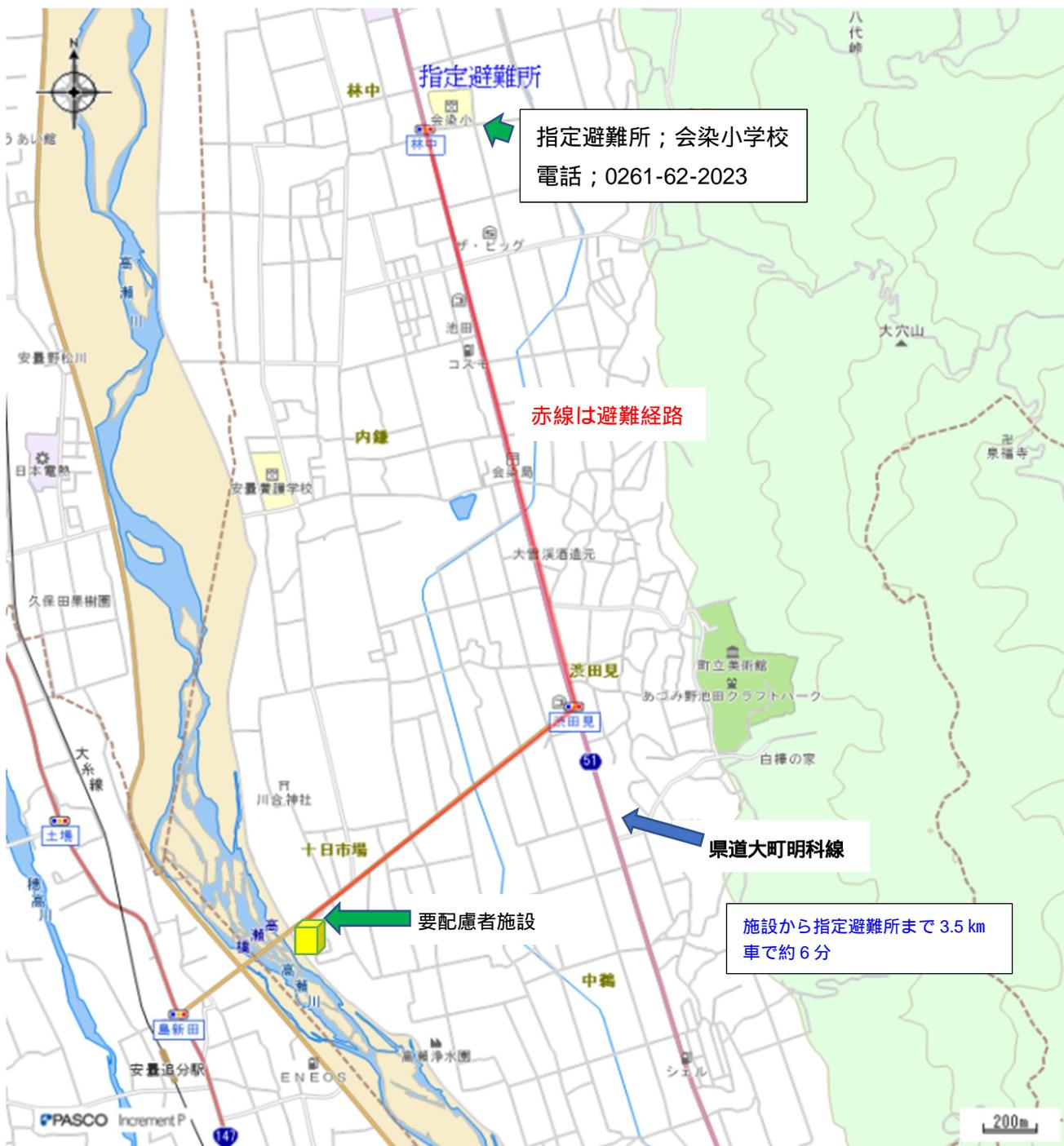


別表2 「自衛水防組織装備品リスト」

任務	装備品
総括・情報班	名簿（従業員、利用者等） 情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 照明器具（懐中電灯、投光機等）
避難誘導班	名簿（従業員、利用者等） 誘導の標識（案内旗等） 情報収集及び伝達機器（タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 懐中電灯 携帯用拡声器 誘導用ライフジャケット 蛍光塗料

# 別紙 「避難経路図」

参考：この図は「しんしゅうくらしのマップ」を使用して作成しています。



「土砂災害ハザードマップ」や「洪水ハザードマップ」を参考に避難所を確認することも含めて、池田町役場総務課危機管理対策室と連携して作成して下さい。洪水ハザードマップは令和3年4月に想定最大規模降雨(概ね1,000年に一度発生確率)に更新しています。